

海外自治体幹部交流協力セミナー2018（シンガポール事務所管内） 事業概要

地方交流事業テーマ：最先端技術を活用した産業・環境先進都市を目指した取り組み

海外参加者数： 9名

AGARWAL RAJIV I.A.S.(Retd.) アガワル ラジヴ *団長
インド 全インド自治体協会 事務局長
SAR DARUN サー ダルン
カンボジア王国 内務省 人事部 課長補佐
JUTA FRIEZCA RARA ジュタ フリズカ ララ
インドネシア共和国 内務省 協力促進局 INGO 及び国際団体担当事務官
KHOUNPHUANG SOUKDAVONE クーンフォン スークダヴォン
ラオス人民民主共和国 内務省 地方行政部門 課長補佐
HASHIM HANIFF ハシム ハニフ
マレーシア 住宅地方自治省 マレーシア地方自治局 副課長
MYAT HTUN U ミヤット トウン ウー
ミャンマー連邦共和国 内務省 総務部 国際関係部門 課長
SEARES ROBERT VICTOR, JR. シアーズ ロバート ヴィクトル ジュニア
フィリピン共和国 ドローレス町 地域最高責任者（町長）
SOMPORNG SUWANNACHAI ソンポン スワンナチャイ
タイ王国 内務省 地方自治振興局 人事責任者（シニアプロフェッショナルレベル）
LE MAI PHUONG レ マイ フォン
ベトナム社会主義共和国 内務省 国際協力部門 専門家

日程：

月日	内容
8/26(日)	○来日、オリエンテーション
8/27(月)	【東京セミナー】 ○講義：日本の地方自治（明治大学 木村俊介教授） ○視察：北嶋絞製作所、NTTドコモ5G体験施設「PLAY5G 明日をあそべ」 ○クレア主催歓迎レセプション
8/28(火)	【東京セミナー／移動／豊橋市における地方交流事業】 ○視察：東京ガス がすてなーに ガスの科学館 ○豊橋市概要説明、豊橋市長表敬 ○視察：吉田城（豊橋公園内） ○豊橋市・愛知県市長会主催歓迎夕食会
8/29(水)	【豊橋市における地方交流事業】 ○視察：イノチオファーム、豊橋サイエンスコア、二川宿本陣資料館、 豊橋市バイオマス利活用センター ○豊橋市職員との意見交換会

8/30(木)	【豊田市における地方交流事業】 ○視察：とよたエコフルタウン、トヨタ自動車工場見学（元町工場） ○豊田市長表敬 ○豊田市職員との意見交換会 ○クリア主催帰国前夕食会
8/31(金)	【豊田市における地方交流事業／移動】 ○視察：トヨタ会館
9/1(土)	○帰国

【 8月26日（日） 】

参加者来日

【 8月27日（月） 】

（1）講義：日本の地方自治

クリア本部会議室にて、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 木村俊介教授による日本の地方自治についての講義を実施。参加者からは、日本の市区町村の区割りの決め方や、市区町村による教育制度の違いなどについて質問があった。参加者各国の地方自治制度が異なる中で、日本の制度について学ぶ有意義な入門講座であったとの声も多かった。



（地方自治講義での質疑応答）

（2）視察：北嶋絞製作所

世界の最先端技術を支える日本の町工場を視察。職人の方から、へら絞り技術やそれらが使われている製品について説明を受けた。日本の高い技術力を誇るものづくりの現場を間近で見ることができる貴重な体験となり、参加者からは素材や工法について質問が相次いだ。また、へら絞り体験では真剣に取り組んでいる様子が見られ、職人と一緒に自らが作った成果物を見て大変喜んでいた。



（へら絞りを体験）

（3）視察：NTTドコモ5G体験施設「PLAY 5G 明日をあそべ」

2020年からサービス提供開始を目指している第5世代移動通信システム「5G」による超高速通信や超低遅延を体験できる施設を視察。NTTドコモの担当者から5G技術開発の状況や将来の活用計画等の説明を受けた後、一般ブースで次世代の通信技術を体験した。参加者からは、技術革新の一方でプライバシー保護に関する問題提起や、計画のより具体的な進捗状況について質問が出た。ブースでは特にWEB美術館が好評であり、詳細にスキャンされたデータから見る美術作品に驚きの声をあげていた。



（5Gによる未来のスポーツ観戦を体験）

（4）クリア主催歓迎レセプション

グランドアーク半蔵門にて開催。参加者9名のほか、クリアから常務理事をはじめ9名が参加。

【 8月28日（火） 】

(1) 視察：東京ガス がすてなーに ガスの科学館

日頃からエコに取り組んでいる東京ガスの科学館を視察。冒頭にガスが家庭に届くまでの展示説明を受け、参加者は耐震化されたガス管等に興味を示していた。その後、科学館における燃料電池等を使った省エネ設備や屋上緑化・雨水利用システム等について説明を受け、実際にそれらの設備を見学した。参加者はガス供給会社が率先して環境に配慮したシステムを取り入れていることに感銘を受けている様子だった。



(省エネ設備を見学)

(2) 豊橋市概要説明

豊橋市職員より、映像も交えながら豊橋市の概要や視察予定先について説明を受けた。また、参加者の国籍の住民も多く住んでいることが分かり、身近に感じたようだった。

(3) 豊橋市長表敬

豊橋市長より、東南アジア諸国への渡航経験談も交えながら「今回のテーマで視察を受け入れることができ、光栄に思う。また日本有数の農業産地でもある豊橋市を満喫してほしい。」と歓迎を受けた。

訪問団を代表して団長から、受入について感謝の意を述べるとともに、「各国で事情も異なるが豊橋市での視察は必ずや役に立つと思う。学んだ内容を国に持ち帰りたい。」と視察への期待と意欲が表された。

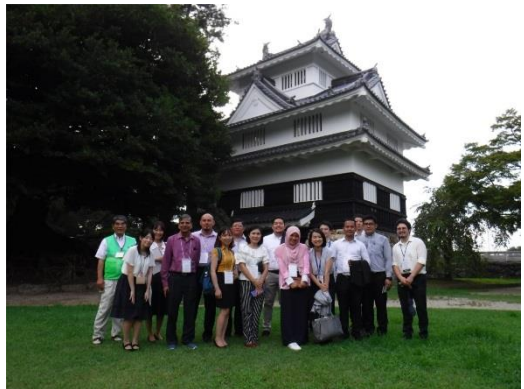


(豊橋市長を囲んで)

(4) 視察：吉田城（豊橋公園内）

観光ボランティアガイドの方に豊橋市役所から公園内を通って鉄櫓まで案内いただいた。

参加者は、築城工事を分担した大名と家臣の印である石垣の刻印を探したり、鉄櫓内に展示されている昔の地図や復元模型上で市役所の位置や今歩いてきた道を確認したりしながら、歴史に思いをはせていた。



(吉田城の鉄櫓前にて)

(5) 豊橋市・愛知県市長会主催歓迎夕食会

ロワジールホテル豊橋にて、豊橋市長、愛知県市長会事務局長出席のもと、歓迎夕食会が催された。

参加者は地元で採れた野菜を使った料理に舌鼓を打ちながら、日本の地方での最初の夜を楽しんでいた。



(豊橋市・愛知県市長会主催歓迎夕食会)

【 8月29日（水） 】

(1) 視察：イノチオファーム

高度な環境制御技術により高品質な農産物を計画的、安定的に生産している同ファームを視察。世界基準に適合した作物栽培の証拠である GLOBAL G. A. P の取得や、浄化センター放流水熱を利用した暖房システムについて説明を受けるとともに、実際にトマトを栽培している温室や、コンピューターを使って選果している様子を見学した。参加者からはシステム開発費用についての質問のほか、そのようにして作られるトマトの値段に驚く声もあったが、ベストなクオリティを生み出す努力に感心していた。



(システム管理されたトマト栽培を見学)

(2) 視察：豊橋サイエンスコア

産学官金が連携して地域の産業振興と人材育成を行っている(株)サイエンス・クリエイトの取組について説明を受けた後、起業支援拠点「Startup Garage」、ものづくり拠点「メイカーズ・ラボ」を視察した。参加者からは、市民による具体的な施設の活用方法、資金面も含めた運営方法等について質問があったほか、ラボでは、目の前で実際に動く3Dプリンタやレーザー加工機にくぎ付けになっていた。



(レーザー加工機の実演見学)

(3) 視察：二川宿本陣資料館

資料館内にて江戸時代の街道や宿場、大名行列等について説明を受けた後、当時の姿をそのまま残す貴重な本陣を案内いただいた。外観やたたずまいはもとより、展示されていた江戸時代の小道具や生活様式ひとつひとつに興味を尽きない様子であった。

また、お座敷でいただく抹茶のおもてなしは日本文化を体験できたと大変好評だった。



(抹茶体験)

(4) 視察：豊橋市バイオマス利活用センター

下水汚泥、し尿・浄化層汚泥、生ごみを資源とする複合バイオマスエネルギー化施設として国内最大規模を誇る同センターを視察。豊橋市職員から、センター内でバイオマスや下水処理の流れについて説明を受けた後、施設の外観を巡った。

参加者からは、ゴミごとの処理の違いや、市民によるゴミ出しの方法、バイオマス発電した後の電気の使われ方などについて質問が相次いだ。

地元新聞社より取材を受けて団長がインタビューに応じる場面もあった。



(ゴミ搬入時の映像を視聴)

(5) 豊橋市職員との意見交換会

参加者は、豊橋市でのプログラムについて印象に残った点や、事前に市から質問のあった農産物の輸入状況やマーケットについて一人ずつ発言した。

視察先について「市と民間のコラボで市の経済を後押ししていると感じた」、「美しい都市と古い建物が共存しており感激した」、「最先端技術を使ってバイオマスなど全て利用しようとする点が大変素晴らしい」、「再利用は一見大変だが長い目で見るとコスト削減になると勉強になった」といったコメントがあった。また農産物に関しては「輸出コストも加わると価格競争の点で厳しい」といった率直な意見もあった。

その後、豊橋市産の巨峰と梨の試食を行い、輸出可能性について追加の質疑を行った。試食した参加者からは、「富裕層などターゲットにもよるが、種無しや甘さの点で周辺国からの輸入に比べて優位性がある」といったアドバイスもあった。



(豊橋市職員との意見交換会の様子)

【 8月30日 (木) 】

(1) 視察：とよたエコフルタウン

同タウン内で豊田市職員から、市の概要説明を受けたあと、エコフルタウン内を視察。コンバージョンEV軽トラックや、自動運転技術、超小型電気自動車、水素ステーションなどの説明を受け、水素を充電する様子も見学した。また、スマートハウスでは予定時間を超過するほど熱心に見学し、導入費用や普及状況など質問が相次いだ。

エコフルタウンからは、普段は実際に市内を走っている燃料電池バスに乗って移動し、エコだけでなく静かな乗り心地に感動している様子であった。



(乗車前に燃料電池バスについて学習)

(2) 視察：トヨタ自動車工場見学（元町工場）

トヨタ自動車の元町工場にて、組立と溶接ラインを見学。工場内ガイドにより、トヨタ生産方式であるジャストインタイムやカンバン方式について、実際の生産ラインを見ながら説明を受けた。クラウンやレクサスといった参加者も知っている車が目の前で作られていく姿に興味深く見学していた。

(3) 豊田市長表敬

参加者を代表して団長より謝意と「豊田市が持続かつ快適な社会への努力をしていることを知ることができた。様々な最先端技術を使用した市のビジョンに感銘を受けた。」とコメントがあった。

豊田市長より「豊田市はクルマの町であるが、視察は市の一部分である。地域の約7割は森林となっている。時間があれば、自然の景色、果物など、楽しんでいただきたい。」と歓迎の言葉があった。

歓談では、豊田市とトヨタ自動車の名前が同じであることやその相乗効果について素朴な質問があるなど、和やかな雰囲気で行った。



(豊田市長を囲んで)

(4) 豊田市職員との意見交換会

参加者は一人ずつ、豊田市でのプログラムについての感想を述べるとともに、事前に市から質問していた低炭素社会に向けた取組やSDGsに関する取組状況について発表を行った。

「市を挙げて環境に配慮した取組を実践している点を見習いたい」、「視察したスマートハウスや再生可能エネルギーなどのアイデアを国に持ち帰って共有する」といった声のほか、トヨタ自動車のモットー『よい品よい考』になぞらえて、「豊田市はまさに『よい市民よい都市である』」と表現する参加者もいた。

豊田市職員は、具体的な数値目標や法令名、政府のキャンペーンを挙げながら紹介される各国の取組に耳を傾けていた。

9名とも、それぞれの国を代表して熱心に発表を行い、全員が終わるころには予定時間を超過するほどだった。



(豊田市職員との意見交換会の様子)

(5) クレア主催帰国前夕食会

ホテルトヨタキャッスルにて、帰国前夕食会を開催。豊田市からは市長にも出席いただいた。

参加者は食事を楽しみながら、市職員に対して意見交換会では時間が足りずにできなかった質問をしたり、豊田市をはじめ日本滞在中の思い出を語りながら、地方最後の夜を満喫していた。

また、全員が異なる国から来日した参加者間でも、1週間近く一緒に過ごした結果、共通の話題で盛り上がるなど、最初のころに比べてより一層の一体感が感じられた。



(クリア主催帰国前夕食会)

【 8月31日 (金) 】

(1) 視察：トヨタ会館

環境や安全など車を通じた未来の豊かな社会に向けた取組や最新技術をPRするトヨタ自動車のミュージアムを訪問。広々とした空間を利用した展示や分かりやすく紹介されたパネルを通して、エコカー開発やトヨタが目指す取組などについて学んだ。

また、館内には実際のトヨタ車の展示もあり、前日の工場見学と異なり撮影可能であったため、参加者は思い思いに記念撮影を楽しんでいた。



(展示車に乗り込んで記念撮影)

【 9月1日 (土) 】

参加者帰国